

1～4号炉は燃料の安定冷却を継続しています。発電所の最新状況やさまざまな取り組みをお知らせします。

■ 本号の内容

2022年2月1日 発行

- みなさまのご質問におこたえします
- 発電所の仲間をご紹介します
- 発電所構内の空間線量
- 燃料の保管と冷却状況
- 発電所の業務をご紹介します
- みなさまの声をお聞かせください
- 発電所データBOX



諏訪神社（富岡町）
撮影日：2022年1月14日



みなさまの声をお聞かせください
こちらのメールアドレスにてお待ちしております。
fuku2kouhou@tepcoco.jp (受信専用)



福島第二原子力発電所の
ホームページもご覧ください。

<https://www.tepcoco.jp/nu/f2-np/index-j.html>

みなさまのご質問におこたえします

Q. 使用済燃料プールの冷却ができなくなった場合、対応はどのようなのですか？

- A. 1～4号炉の使用済燃料プールに保管されている使用済燃料は、約30℃に保たれたプールにて管理し、安定冷却を継続しております。
- 通常の冷却設備（ライン）により冷却が万が一できなくなった場合には、以下のバックアップ設備により冷却機能を維持します。
- 地域のみなさまにご安心いただけるよう、今後とも設備の維持管理に努めてまいります。

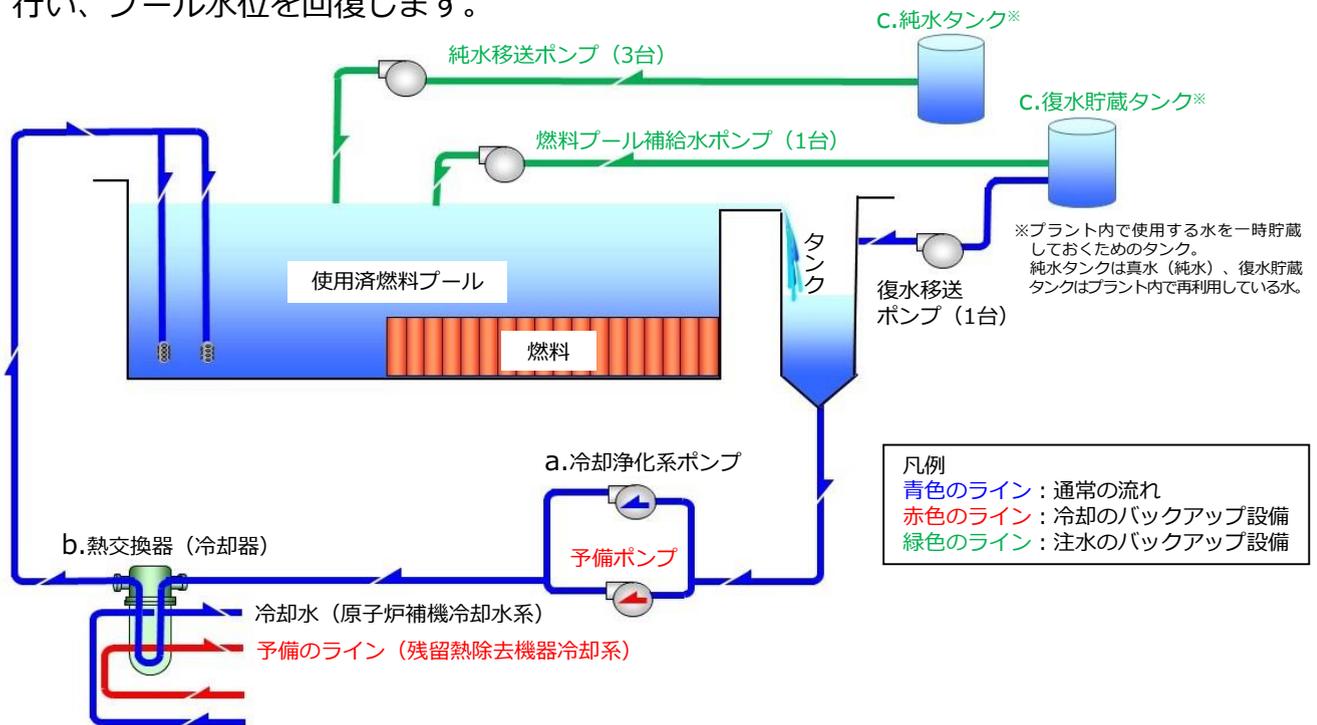
設備のバックアップ

<冷却>

- 冷却浄化系ポンプが停止した場合は、予備のポンプを起動します。
- 熱交換器でプール水を冷却している系統（原子炉補機冷却水系）が使用できない場合、予備のライン（残留熱除去機器冷却系）で冷却します。

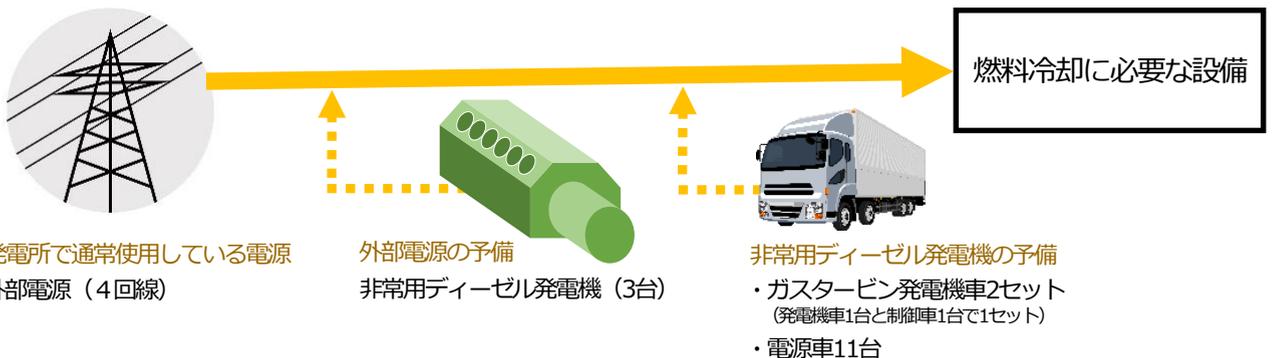
<注水>

- 使用済燃料プール水位が低下した場合は、復水貯蔵タンクまたは純水タンクから注水を行い、プール水位を回復します。



<電源>

- 外部から供給されている電源が使用できない場合は、非常用ディーゼル発電機から供給します。
- さらに非常用ディーゼル発電機のバックアップとして、電源車やガスタービン発電機車を構内に配備しています。



発電所の仲間をご紹介します

今回は
ウツエバルブサービス株式会社 です

今回は、福島第一・福島第二原子力発電所で、発電所設備のバルブや配管、およびこれらに関する機械・計測設備のメンテナンス等の業務にご協力いただいているウツエバルブサービス株式会社の田中さんにお話を伺いました。



登録事務所で手続きをしている様子

作業員が安心して働けるよう業務に努めています

－業務について教えてください

私はウツエバルブサービス株式会社の放射線管理業務を担当しています。主に放射線管理区域で作業するために必要な各種手続きや、個人の放射線量管理等の業務をしています。発電所の登録窓口での手続きのため、申請者に同行し対応することもあります。



ウツエバルブサービス株式会社
福島事業所 放射線管理グループ
サブリーダー
たなか はるみ
田中 晴美 さん（双葉町出身）
趣味：ゴルフ

－業務を行う上で心がけていることは

個人における健康診断・ホールボディカウンター*1の受検管理やガラスバッジ*2作成交換、従事者登録・継続・解除業務等に抜けが出ないように、日々の確認チェックを心掛け、作業員が安心して働けるよう業務に努めています。

－福島復興に向けて思うことは

私の出身地である双葉町では、だるま市も2023年から双葉町へ戻ることをニュースで耳にしました。少しずつではありますが地域復興が進んできていると感じます。この流れを止めないためにも、微力ではありますが自分の業務に責任を持って取り組んで行きたいと思います。

* 1 ホールボディカウンター：放射線内部被ばくを測定する装置
* 2 ガラスバッジ：個人放射線被ばくを測定するバッジ

発電所構内の空間線量

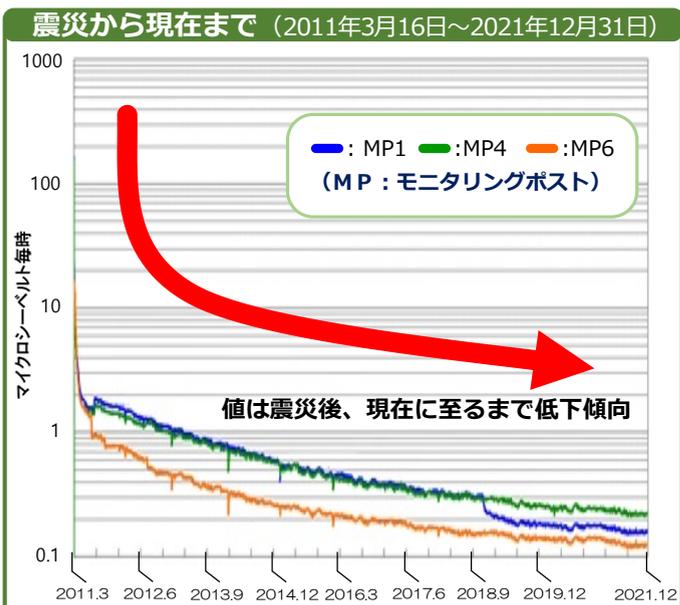
（単位はマイクロシーベルト毎時）

発電所構内のモニタリングポスト計測値（MP1～7）

2022年1月23日 時点

0.08 [MP7] ～ 0.23 [MP3]

値は震災後、現在に至るまで低下傾向



参考データ（単位はマイクロシーベルト毎時）

発電所周辺町村の空間線量

富岡町（文化交流センター）	0.14	楡葉町（役場）	0.07
広野町（役場）	0.09	川内村（役場）	0.07

原子力規制委員会 放射線モニタリング情報より（2022年1月23日 12:00時点）

世界の主要都市の空間線量

ロサンゼルス（アメリカ）	0.10	ソウル（韓国）	0.12
上海（中国）	0.59	ロッテルダム（オランダ）	0.33

出典：福島県放射能測定マップ、在大韓民国日本国大使館ホームページより

燃料の保管と冷却状況

- 燃料はすべて、1～4号炉の使用済燃料プールで保管しています。プール水は約30℃で安定的に冷却し、常に監視しています。

2,534体

1号炉

2,482体

2号炉

2,544体

3号炉

2,516体

4号炉

発電所の業務をご紹介します

今回は**保全・工事部**
土木グループです

当所には、防波堤を含む港湾設備や海水を取り入れるための取水設備、他にも変圧器といった電気設備の基礎など、約180の土木設備があります。土木グループでは、これら設備を維持・管理していくため、点検・補修工事を行っています。

また、当所全号炉の廃止が決定したことから、今後運用していく、土木設備の補修工事や改良工事などの計画、廃止措置に伴う解体撤去工事の計画検討も行っています。



新たに設置した手すりの確認

日々の仕事を大切にして安全第一に業務を進める

私は、土木設備の点検計画の立案・実施、工事を発注するための設計や契約後の作業工程の管理、現場監理などを担当しています。また、現場作業においては、他の工事箇所や放射線部門等と調整しながら安全に作業を進めていく必要があるため、担当者間でコミュニケーションを図り、情報共有に努めています。

私は、大熊町出身で震災当時は福島第一原子力発電所で現在と同じ土木業務に携わっていました。あの時もっと出来ることがあったのではないかと今でも当時のことを思い出します。私が今できることは、その時の気持ちを忘れず、日々の仕事に真摯に取り組み、安全第一に業務を進めていくことだと思っています。



保全・工事部 土木グループ
チームリーダー

いけだ やすひこ
池田 康彦 (大熊町出身)

みなさまの声をお聞かせください

「福島第二原子力発電所からのお知らせ」をご覧ください、ありがとうございます。

今後の広報紙づくり等のため、ご意見・ご要望など、みなさまの声を是非お聞かせください。



こちらのメールアドレスにて
お待ちしております。

fuku2kouhou@tepcoco.jp (受信専用)

※いただいた内容は、広報紙づくり等の参考にすることを目的としており、それ以外の目的での使用はいたしません。

発電所データBOX

福島第二原子力発電所で働く人は2,223人※です。(2021年12月1日現在)
※1日あたりの入構者数は約870人

	東京電力HD	協力企業	合計
県内	355人	1,593人	1,948人 (88%)
県外	44人	231人	275人 (12%)
合計	399人	1,824人	2,223人 (100%)

編集後記

2022年1月2日、表紙で紹介している富岡町の諏訪神社へ家族と一緒に初詣に行ってきました。諏訪神社は、富岡町出身の私にとって、幼少の頃からとても馴染みがあり、震災の影響で損壊した参集殿等が再建されたため、とても清々しい気持ちでの初詣となりました。また来年も家族と一緒に、諏訪神社へ初詣に行くことを楽しみにしています。【山】



福島復興への責任を果たすため、燃料の安定冷却を継続し、安全・安心を第一に廃止措置を進めてまいります。



福島第二原子力発電所の
ホームページもご覧ください。

<https://www.tepcoco.jp/nu/f2-np/index-j.html>

編集発行責任者：

東京電力ホールディングス株式会社
福島第二原子力発電所 広報部 企画広報グループマネージャー
〒979-0695 福島県双葉郡楢葉町大字波倉字小浜作12
Tel 0240-25-1353 (受付時間 (平日) 午前9時 ~ 午後5時)
fuku2kouhou@tepcoco.jp (受信専用)